MUJI 無印良品 保存用

竹材　ラック付き タオルハンガー

組立・取扱説明書

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で正しくお使いください。
また、本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

2023 年 6 月 28 日

製品仕様

品　名	竹材 ラック付きタオルハンガー
J A N	4550182995664
製品寸法	幅578×奥行319×高さ897 mm
製品重量	2.0 kg
用　途	室内用タオルハンガー
耐荷重	センターバー1本あたり 約3 kg 底面フレーム 約7 kg
材　質	本体：竹、パーツ：金属（鋼） スペーサー：天然木 （ラバーウッド）
表面加工	本体：アクリル樹脂塗装 パーツ：めっき（亜鉛末クロム酸化成皮膜）
原産国	中国

※天然素材を使っている為、使用している間に色が変化することがあります。ご了承ください。

ご使用方法

廃棄について

●廃棄の際は、居住地域の自治体のルールに従い、処分してください。

お手入れ方法

保守・点検

●各部にゆるみがないか定期的に点検し、ゆるみはじめたらしっかり締め直してください。ゆるんだまま使用すると、ケガや破損のおそれがあります。
●害虫を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。放置すると虫害が拡大するおそれがあります。

お手入れ方法（つづき）

竹材のお手入れ

●毎日のお手入れはやわらかい布で乾ぶきしてください。
●汚れのひどい時は、3～5％に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよくふき取ってください。次に乾いた布で軽くふいた後、自然乾燥させてください。

お問い合わせ先

製品のお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくは下記お客様相談室までご連絡ください。

株式会社　良品計画

お客様相談室でんわ
0120-14-6404

重要なお知らせ（安全上のご注意）

ここに示した警告・注意事項はお使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ずお守りください。

⃠ してはいけない「禁止」の内容です。　❗ 実行しなければならない内容です。

⚠警告　死亡や重傷などに結びつくおそれがあるもの

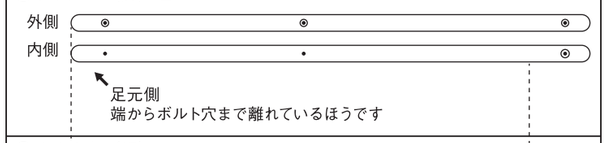
⃠ 禁止	●お子さまに製品に登る、ぶら下がるなどさせないでください。転倒や破損、ケガをするおそれがあります。 ●保護者の目の届かない場所で、お子さまだけで使用させないでください。思わぬケガの原因となります。 ●指定の用途以外で使用しないでください。破損してケガをするおそれがあります。 ●耐荷重を超えて物をのせたり、掛けたり、耐荷重内でも一部に片寄ってのせたりしないでください。変形や破損の原因となり、ケガをするおそれがあります。 ●製品の上にのらないでください。バランスをくずして転倒する、製品の破損によりケガをするおそれがあります。 ●一部に片寄る過度な荷重は加えないでください。部材の破損の原因となり、ケガをするおそれがあります。
❗ 行う	●各部にゆるみがないか定期的に点検し、ゆるんでいたらしっかり締め直してください。ケガや製品の破損防止になります。

⚠注意　傷害を負う可能性や物的損害が生じるおそれがあるもの

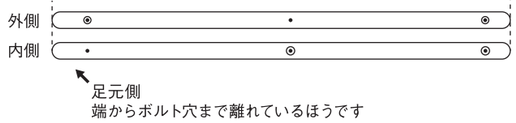
⃠ 禁止	●屋外では使用しないでください。変形や著しい劣化が起こり、ケガをする原因となります。 ●高温多湿な場所に長期間設置しないでください。カビやダニなどが発生し、健康を害することがあります。 ●シンナーなどの有機溶剤や漂白剤などの薬剤でお手入れしないでください。変色や変形の原因となります。 ●衣類などを掛けたハンガーは掛けないでかないでください。バランスをくずし製品ごと倒れるおそれがあります。
❗ 行う	●アルコールを含む消毒剤などが垂れた場合にはすぐにふき取ってください。また、過度なアルコール消毒剤でのふき掃除はお避けください。表面が変色や変質することがあります。 ●平らで安定した場所に設置してください。不安定な場所での使用は、製品のゆがみ、破損の原因になることがあります。 ●直射日光を避け、冷暖房具の熱や風に当たらないようにしてください。反り、割れ、変色の原因になります。 ●濡れたタオルを干す場合は、よく絞って（脱水して）からかけてください。絞らずにかけると劣化やカビ発生の原因となります。

パーツリスト

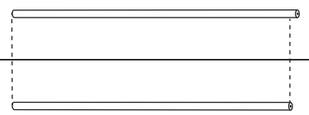
Ⓐサイドバー（長）×2



Ⓑサイドバー（短）×2

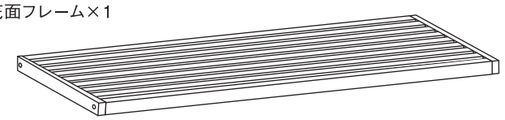


Ⓒセンターバー（丸長）×1



Ⓓセンターバー（丸短）×2

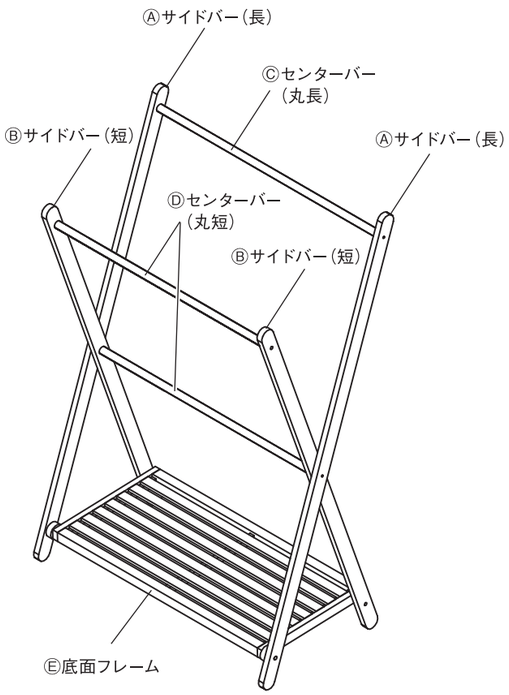
Ⓔ底面フレーム×1



フィッティングパーツ

ⓐボルト（大）	ⓑボルト（小）	ⓒスペーサー	ⓓレンチ	ⓔフェルト
×6	×4	×2	4 mm用 ×1	×4

各部の名称



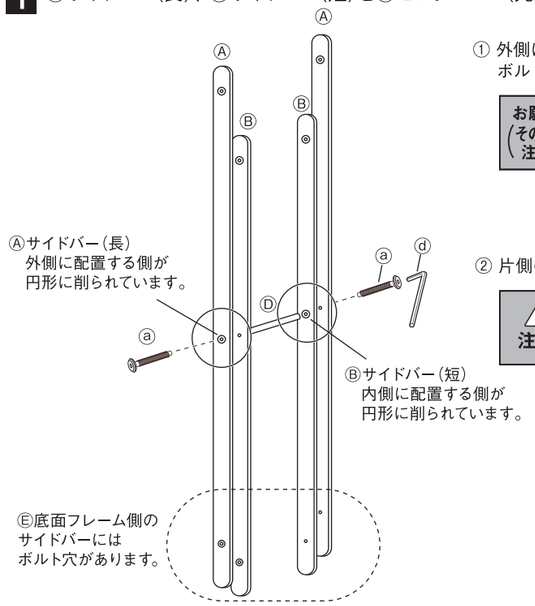
（完成図）

組立方法

⚠注意

❗ 行う
●組み立ての際は、手袋などをつけて作業してください。思わぬケガの防止になります。
●組み立て時は、組み立てに必要なスペースを十分に確保し、敷物を敷いてください。床や既存の家具のキズ防止になります。

1 Ⓐサイドバー（長）、Ⓑサイドバー（短）とⒹセンターバー（丸短）を取り付けます。



① 外側にⒶサイドバー（長）が配置されるように重ねてから、Ⓑサイドバー（短）のセンターにあるボルト穴とⒹセンターバー（丸短）の芯にあるボルト穴を合わせⓓを使ってⓐを軽く締め込みます。

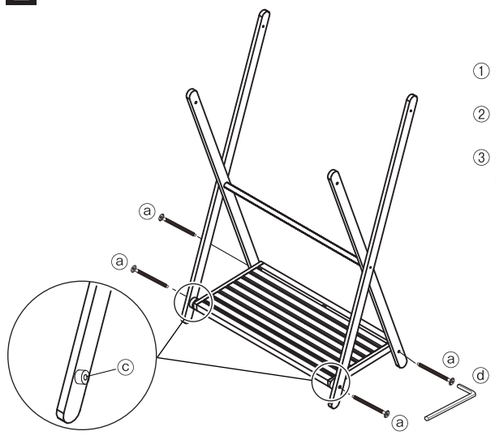
お願い（その他注意）　一箇所ずつきつく締めないでください。穴位置がずれ、組み立てが難しくなる為、まず全てゆるめに締めておいてください。

② 片側の仮締めが終わったら、反対側から同じようにⓓを使ってⓐを軽く締め込みます。

⚠注意　❗ Ⓐサイドバー（長）、Ⓑサイドバー（短）が動かないように押さえながらⓐボルト（大）を軽く締め込んでください。
仮締めしているのでサイドバーが動きやすく、頭にあたるおそれがあります。

使用するパーツ
Ⓐサイドバー（長）　×2
Ⓑサイドバー（短）　×2
Ⓓセンターバー（丸短）　×1
使用するフィッティングパーツ
ⓐボルト（大）　×2
ⓓレンチ

2 **1**にⒺ底面フレームを取り付けます。



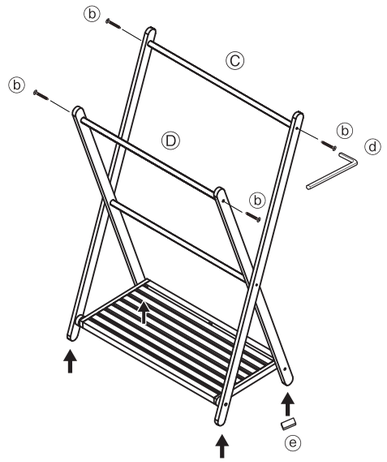
① Ⓐサイドバー（長）、Ⓑサイドバー（短）でⒺ底面フレームをはさむように置きます。

② Ⓑサイドバー（短）とⒺ底面フレームのボルト穴を合わせⓓでⓐ軽く締めて取り付けてください。

③ ⓒをⒶサイドバー（長）とⒺ底面フレームの間にはさみ、ボルト穴を合わせ、ⓓでⓐ軽く締めて取り付けてください。

使用するパーツ
Ⓔ底面フレーム　×1
使用するフィッティングパーツ
ⓐボルト（大）　×4
ⓒスペーサー　×2
ⓓレンチ

3 **2**にⒸセンターバー（丸長）、Ⓓセンターバー（丸短）を取り付けます。



① Ⓒセンターバー（丸長）、Ⓓセンターバー（丸短）にⓓを使ってⓑを軽く取り付けます。

② ⓔをサイドバーの底面に貼ってください。

③ ガタつきがないか確認しながら、全てのⓐ、ⓑを竹部が割れないように徐々にネジ頭がボルト穴と平らになる程度締め込んで完成です。

使用するパーツ
Ⓒセンターバー（丸長）　×1
Ⓓセンターバー（丸短）　×1
使用するフィッティングパーツ
ⓑボルト（小）　×4
ⓓレンチ
ⓔフェルト　×4

327656101-009-002-JPEN